

本宮砂防堰堤が完成し80年！

本宮砂防堰堤は常願寺川の中流域に位置し、貯砂量は我が国最大の500万m³を誇り、堰堤の表面は間知石張りで造られており、周辺の山並みに調和した砂防堰堤となっています。また、平成11年8月には、国の登録有形文化財に登録されました。

ついでには、本宮砂防堰堤が完成（昭和12年3月完成）し、80年を迎えるとともに、富山県が立山砂防の歴史的施設の世界遺産登録を目指して取り組んでいる中で、改めて「本宮砂防堰堤」の価値について、地域の方々と共に知り・触れ合ってもらい、認識を高めてもらうことを目的として、以下のとおり『本宮砂防堰堤を語る会』を開催します。



完成直後の本宮砂防堰堤
(昭和12年4月撮影)

『本宮砂防堰堤を語る会』

開催日時：平成28年11月27日(日) 15時00分から16時30分

開催場所：小見地区コミュニティセンター研修室(富山市小見)
(別添図参照)

主 催：人・川ふれあい連絡会
(事務局：立山砂防事務所 調査課)

お 問 い 合 わ せ 先

国土交通省 北陸地方整備局	立山砂防事務所
副所長(技術)	浅井 誠二
調査課長	石井 崇
電話	076-482-1111 (代表)
FAX	076-482-1101

立山砂防事務所

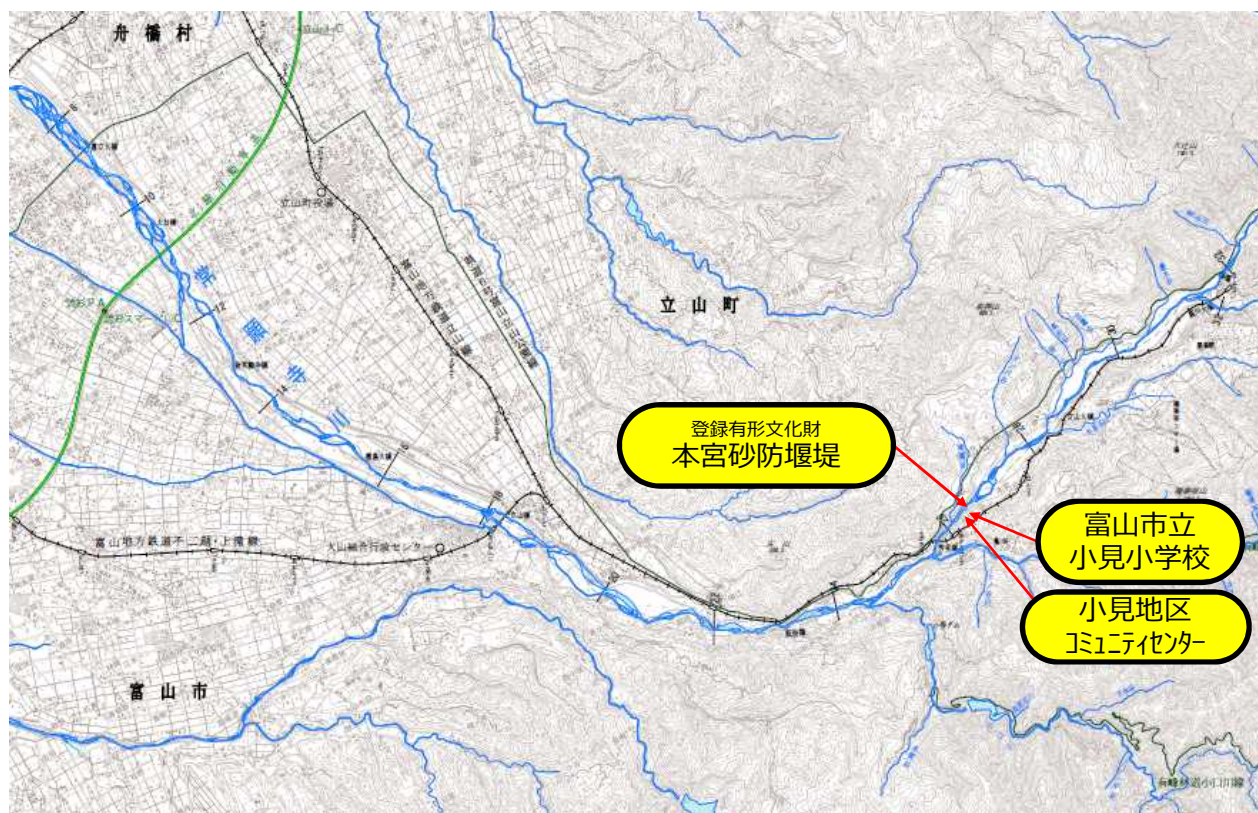
〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦峠寺字ブナ坂61番地
<http://www.hrr.mlit.go.jp/tateyama/index.html>

QRコードはこちら 



国土交通省北陸地方整備局

開催場所



本宮砂防堰堤を語る会

～地域の皆さんと共に80年～

1. 開催主旨

本宮砂防堰堤は、昭和12年（1937年）3月に完成し、80年を迎えます。そこで、富山県が立山砂防の歴史的施設の世界遺産登録を目指して取り組んでいる中で、改めて「本宮砂防堰堤」の価値について、地域の方々と共に知り・触れ合ってもらい、認識を高めてもらうことを目的として開催します。

2. 主催

人・川ふれあい連絡会

参加費無料

3. 開催日時

平成28年11月27日（日） 15:00～16:30

4. 開催場所

小見地区コミュニティセンター研修室（富山市小見）

5. 参加人数

約70人（予定）

6. 次第

1）挨拶（立山砂防事務所長）

2）講演

○「女性の目から見た海外の災害現場～スリランカの土砂災害地を訪ねて～」
（15分程度）

立山女性サロンの会会長
（富山国際大学教授）

尾畑 納子 氏

○「常願寺川と立山カルデラをたどる」

（30分程度）

富山県知事政策局参事

松島 吉信 氏

○「本宮砂防堰堤の思い出」

（10分程度）

芦峯寺前総代

佐伯 信春 氏

○「本宮砂防堰堤建設への歩み」

（20分程度）

小見地区自治振興会会長

山森 潔 氏

3）その他

4）閉会